

## 「人材育成」と「スキルアップ」研修 第3弾

# 『障がい福祉の歴史と札幌市の相談支援事業の歴史』

「人材育成」と「スキルアップ」研修は、平成25年度の“課題調べ”（ワン・オール業務）でいただいた課題を体系的に整理し、その後、委託相談の課題解決に向けて“委託相談改革推進”の取組の一つとして、札幌市自立支援協議会相談支援部会の方などのご協力をいただきながら進めてきました。今回は、平成27年1月に開催したキックオフ研修でのグループワークの際にいただいたご意見を整理した結果、『障がい福祉の歴史と札幌市の相談支援事業の歴史』というテーマで研修を開催いたします。

講義①では、キックオフ研修にもご協力いただき、今後の研修でのご登壇希望も非常に多かった、田中耕一郎先生から、「障害者福祉法制史」についてお話いただきます。この講義①をベースに、講義②と③では、“制度上のサービス提供事業”や“札幌市障がい者相談支援事業”について、制度と共にどのように変化して現在に至っているのかを確認していきます。

皆様の参加お申込を、お待ちしております。

日時 平成28年2月2日（火） 13時00分～17時30分（受付12時45分）  
会場 札幌市視聴覚障がい者情報センター 2階 大会議室  
対象者 札幌市障がい者相談支援事業の委託を受けている事業所に所属している方  
参加費 無料

### 内容（時間配分は予定）

13:00～13:15 開始・オリエンテーション  
13:15～15:05 講義・グループワーク①「障害者福祉法制史」  
講師／北星学園大学福祉臨床学科教授 田中 耕一郎 氏  
15:15～16:05 講義・グループワーク②「制度を中心とした資源の変遷」  
講師／さっぽろ地域づくりネットワーク ワン・オール  
16:15～17:25 講義・グループワーク③「札幌市の相談支援事業の歴史」  
講師／さっぽろ地域づくりネットワーク ワン・オール  
17:30 終了

懇親会 研修終了後に開催を予定しています。（会場は当日お知らせします。会費 3500 円程度を予定）

### 申込方法

添付の申込用紙に必要事項を記載の上、1月22日（金）までにメールにてお申込ください

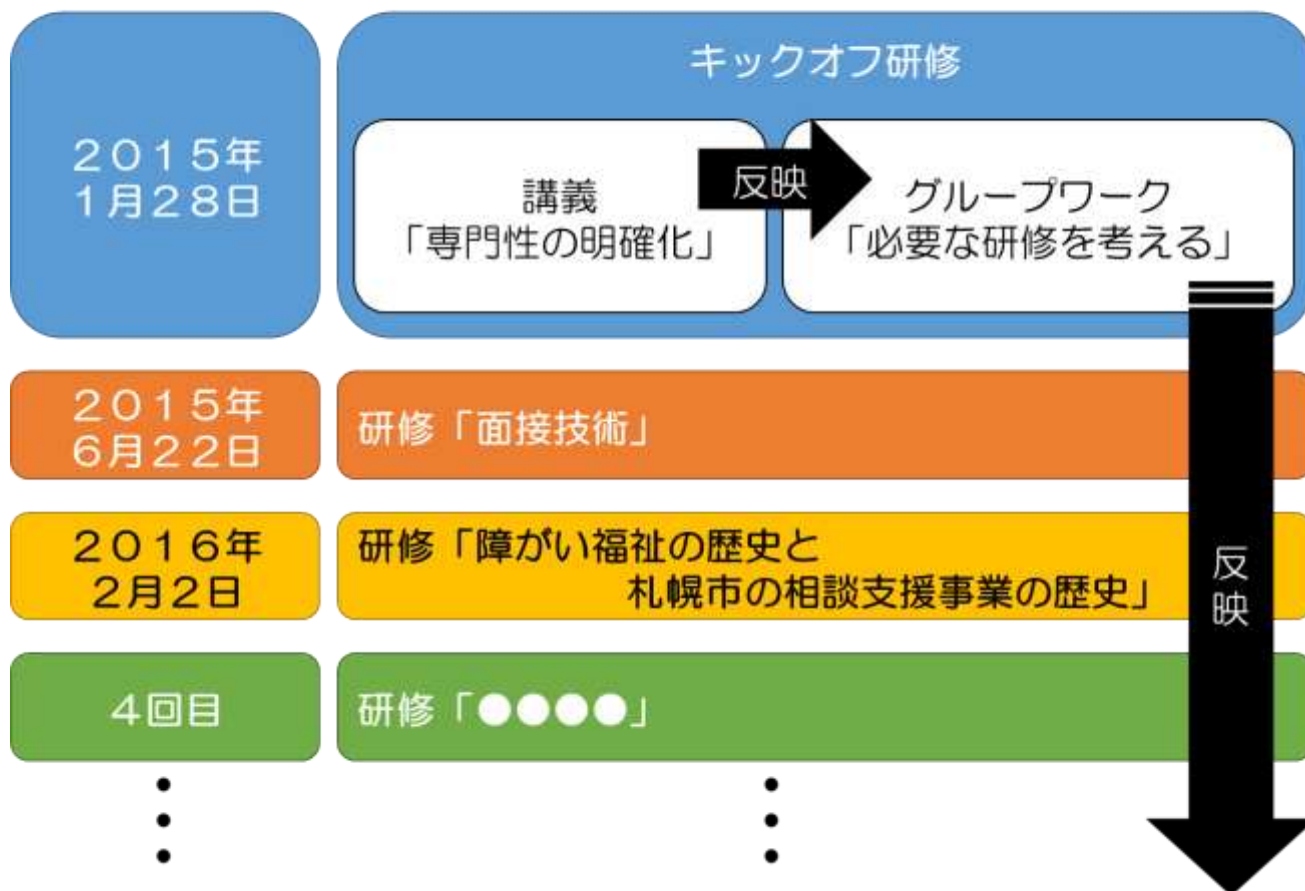
申込先メールアドレス sapporo@one-all.net

お申込多数の場合は、参加のお断りをさせていただく場合がございます。

主催 さっぽろ地域づくりネットワーク ワン・オール  
〒064-0808 札幌市中央区南8条西2丁目  
市民活動プラザ星園 302号  
電話 011-213-0171  
Fax 011-213-0172  
e-mail sapporo@one-all.net  
URL <http://one-all.net>

[担当／林]

# 「人材育成」と「スキルアップ」研修の構造



「専門性の明確化」については、札幌市独自で検討を行うことよりも、北海道自立支援協議会人材育成部会がまとめた「[北海道における障害福祉サービスに従事する人材の育成のあり方](#)」(参考)で、求められる人材像について「価値」「知識」「技術」の3つの要素で整理されています。北海道での人材育成の基本となるものなので、「専門性の明確化」については、これを活用することが適切と考えます。

「人材育成」と「スキルアップ」研修では、「価値」「知識」「技術」の各項目のうち、既存の研修では比較的対応が難しいテーマについての研修を実施していきます。平成25年度、ワン・オールが各委託相談支援事業所から頂いた意見を整理すると、「面接技術」や「スーパーバイズ」をテーマとした研修の実施が必要と推察されます。

ただし、「スーパーバイズ」については、今後、相談支援従事者研修の『専門コース別研修』で実施される可能性があり、前回は「面接技術」の研修を実施しました。今回は、キックオフ研修の際のグループワークで話し合われた内容を整理した結果、「障がい福祉の歴史と札幌市の相談支援事業の歴史」をテーマとした研修を開催します。次回以降の研修については、「スーパーバイズ」又は、キックオフ研修のグループワークで考えられたテーマを基に研修を実施していく予定です。

「北海道における障害福祉サービスに従事する人材の育成のあり方」より抜粋  
(北海道自立支援協議会人材育成部会(平成26年11月))

## 第1 求められる人材像

求められる人材像について、次のとおり「価値」、「知識」、「技術」の3つの要素で示すこととした。

主として、相談支援専門員とサービス管理責任者を念頭においているが、他の障害福祉サービス従事者にも、内容に応じて広く適用されることを想定している。

### (1) 価値

- ・本人中心の価値…自己決定と選択(個の主体としての自立)
- ・人権をめぐる価値…人間存在の基本価値(人としての尊厳と人権の尊重)、中立・公平の立場と本人の権利擁護者としての関係性、絶対的平等
- ・職業倫理…ソーシャルワーカーとしての倫理

### (2) 知識

- ・対象理解に関する知識…障がいの概念・特性、ICF、児童発達に関する知識
- ・障がい者の歴史的な処遇、実態…社会政策と法制度と施策、権利侵害、関連法制度(障害者総合支援法の理解と運営基準)、障害福祉サービス、障がい者福祉・教育関連の制度
- ・地域特性に関する知識…北海道の地域特性
- ・フォーマル・インフォーマルな社会資源に関する知識…関係機関の役割
- ・各種援助理論や援助技術に関する知識…SW援助技術(各種方法論)の概要

### (3) 技術

- ・想像力…利用者の生活全体を捉え、その思いを察知し、微かな変化をも感知する力
- ・情報収集力…利用者・家族・関係者の話や記録から必要な情報を収集する力
- ・分析力…主訴やニーズ、現状の構成要素、利用者の環境的課題(地域課題)等をアセスメントする力
- ・創造力…支援に必要なアイデアや仕組みを発想できる力
- ・対話力…利用者の思いを引き出すコミュニケーション力、相談スキル(アサーティブ)
- ・関係形成力…利用者・関係者と信頼関係を構築する力
- ・交渉力…利用者のニーズに即応するために関係機関とかけあう力
- ・調整力…複数の課題や関係機関の特性を理解し的確な役割を割り振り、連携を生みだす力
- ・説明力…利用者のニーズや思い、地域課題等を分かりやすく伝える力
- ・計画力…利用者主体に基づき、支援に必要な時間・優先課題を見立て、目標を計画的に遂行管理しつつ実現する力
- ・推進力…積極的に事態を動かし、利用者・関係機関を促していく力
- ・評価力…地域課題や、支援の総過程をトータルに評価できる力
- ・SW援助技術…各種援助方法、質の高いQOLへの支援
- ・指導力…後輩に対して、的確にスーパーバイズできる力
- ・社会資源開発力…新たな資源づくり、現状の社会資源の使い方などの開発できる力

相談支援従事者の資質の向上を目的に、平成19年度から北海道自立支援協議会に研修専門部会を設置し、相談支援従事者の研修内容や体制整備について協議を行ってきたが、障がいがあっても安心して暮らせる地域づくりを推進するために重要な役割を担う、幅広い人材の育成のあり方について検討するため、平成25年度に研修専門部会を人材育成部会に改めて、北海道における障がい保健福祉に関わる人材育成のあり方について検討した